

月刊 天真

発行日 2014(平成26)年11月1日
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
 第452号

2014年 11月



11月23日 おかげさま報恩講 どうぞお参り下さい

おかげさま報恩講は、親鸞聖人のご恩を偲び、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来の救いをあらためて心に深く味あわせていただく法要です

□ ■ 浄土真宗はどんな教え?

阿弥陀如来のはたらきによって信心を恵まれ、念仏する人生を歩みます。この世の縁が尽きる時、浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教え導きます。

□ ■ 浄土真宗の宗祖は?

親鸞聖人です。承安3年4月1日(1173年5月21日)に誕生され、9歳で出家されました。比叡山で20年間厳しい修行に励まれましたが、ひとりへの道を見いだせず山を



下り、法然聖人の導きで、自分にとって専修念仏こそが唯一の道であると気付かれました。

35歳の時には、念仏弾圧で越後(新潟県)に流罪となられましたが、その後、関東へと移られ念仏のみ教えを広められました。

晩年は京都で、『教行信証』や『和讃』の執筆に力を注がれ、人々にみ教えを伝えられました。弘長2年11月28日(1263年1月16日)に90才で往生されました。

岐阜県高山市のお寺の坊守、平野恵子さんは、長女の由紀乃ちゃんが重度の心身しょうがい児として生まれた時、夜も眠れず、死を思い続ける辛い日々を過ごしていました。しかし無邪気に笑う妹に、「お母さん、由紀乃ちゃんは、顔も手も足もお腹も、全部きれいだね。由紀乃ちゃんは、お家のみんなの宝物だもんね」と語りかけた幼い長男の一言が電流のように身体に流れ込み、これまでの自分を恥じ涙が溢れたといいます。由紀乃ちゃんが生きることの喜び悲しみを、そして苦しみをいつも全身で教え続けてくれていたことに目覚めたのです。「由紀乃ちゃんの人生は、なんと満ち足りた安らぎに溢れていることでしょうか。食べることも、歩くことも、何一つ自分ではできない身体をそのままに、絶対他力の掌中に抱き込まれ、一点の疑いもなくまかせきっている姿は、美しくまぶしいばかりでした」。

深い悲しみ、苦しみを通してのみ見えてくる世界があります。好きか嫌い、役に立つか立たないか、良いか悪いか…、すべてを自分中心のものさしではかたては、決して見えない幸せが、尊い喜びの世界があるのです。愚かな私をも照らす阿弥陀如来のお慈悲に遇ってはじめて、「ありがとう、おかげさま」と手が合わさるお念仏の人生が恵まれます。報恩講には、親鸞聖人が命がけで求めたお念仏のみ教えを聞かせていただきましょう。ご参拝心よりお待ちしております。

日	月	火	水	木	金	土
						1 10:00 納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
2 7:00日曜礼拝 AM農園作業	3 文化の日	4 13:30踊り教室	5	6	7 13:00 おみがき屋食準備	8 9:00おみがき (お寺の大掃除) 10:00 あんのん堂合同参拝 (京都・大谷本廟内)
9 7:00日曜礼拝 AM農園作業	10	11	12 れんげの集い 築地報恩講参拝 12:30ヨガ教室	13	14	15 13:30グランドゴルフ
16 7:00日曜礼拝 AM農園作業	17	18 13:30踊り教室	19 10:00 クリスタルヨガ	20	21	22 12:00 報恩講お斎準備 15:00壮年会 15:00雅楽教室
23 勤労感謝の日 7:00日曜礼拝 11:00入門式 13:30報恩講	24 振替休日	25 9:00ボラン ^{テラ} 寺 (寺報発送作業)	26 12:30ヨガ教室	27	28	29
30 7:00日曜礼拝 AM農園作業						<来月の予定> 20日(土)法話会・門信徒会忘年会 <平成27年1月1日> 元旦会

【講師】
赤井智願師
(兵庫県)

天ちゃんの一言

☆ 報恩講準備 お寺の大掃除「おみがき」

京都・本願寺の年末恒例行事「お煤払い」。室町時代、蓮如上人の時代からはじまったといわれています。天真寺でも一年間の煤やほこりを払う「おみがき」を行います。仏具を磨き、お寺中をピカピカにして報恩講を迎えます。門信徒皆様のお寺です。一人でも多くの方にお手伝いいただけると有難いです。昼食はカレーです。11月8日(土) 午前9時 お手伝いお願いします〜!!

☆ 被災地支援活動「がんばっぺ福島市」報恩講でも開催

アーユス仏教国際協力ネットワークにご協力いただき、秋彼岸法要で福島産の野菜&きのこを販売しました。ご支援ありがとうございました。報恩講でも開催しますので、お楽しみに!

門信徒会

一緒に浄土真宗のみ教えを聴きましょう。入会は随時受付中です。毎月、寺報と仏教冊子を配布しています。年会費：一戸3000円



☆今月のふれあい農園ニュース☆
たくさんのさつま芋が掘れました!!

浄土真宗 天真寺

〒270-2251
千葉県松戸市金ヶ作106番地
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp



おかげさま報恩講

【日時】 11月23日
(月) 勤労感謝の日

- 11:00 門信徒会入門式(受付10:30)
- 12:00 お齋(昼食)
- 12:40 雅楽三演奏会(受付12:00)
- 13:30 報恩講法要

【講師】
赤井 智顕師

兵庫県西宮市善教寺副住職
本願寺派布教使
龍谷大学講師
仏教総合研究所研究員



天真寺雅楽会 演奏会ご招待♪

11月23日(月) 午前12時40分
報恩講前のひと時、雅な音色を楽しんで下さい
＜曲目＞「平調音取」「鶏徳」「恩徳讃」

※役員の皆様には、当日午前9時にお集まりいただけますよう、お願い申し上げます。

バス無料送迎便 ■お気軽に利用下さい！

- 12:00 JR北小金駅南口 SATY前五大ホーム
- 12:15 マツエツ小金原店駐車場
- 12:20 栗ヶ沢公園前ファミリーマート
- 12:40 天真寺
- 13:00 新京成線八柱駅南口 メガネスーパー前
- 13:10 新京成線常盤平北口 2番バス停
- 13:20 天真寺

※法要後、帰りの便もあります

さつまいも掘り & ピザ作り楽しみました！

10月12日(日)子ども達が楽しみにしていた「さつまいも掘りとピザ作り体験」を予定通り行うことができました。
まずはピザ生地作りです。小麦粉にドライイースト、砂糖、塩等をふるいにかけてぬるま湯で練り上げて生地の発酵を待ちます。
発酵を待つ間に畑作業です。さつまいもの苗を5月11日に植え付けてから5ヶ月が過ぎました。ツルは横に広がっていますが、さつまいもは試し掘りしてから1ヶ月が過ぎたとはいえども土の中。そんな心配もツルを切り、黒いマルチカバーをはずし掘り始めてみると大きく育ったさつまいもが獲れ、子ども達は大喜びで掘り出していました。収穫している姿をお母様はカメラ撮影、そして収穫したさつまいもを皆さんでお持ち帰りいただきました。



さつまいも掘りも終わり、もう一つの楽しみはピザ作り。生地をのばし子ども達が色々な具やチーズを乗せた後スタッフ手作りの石窯で焼き上げましたが(18枚!)、自分で作ったピザの焼き上がりを楽しそうに待っている姿や皆さんが美味しそうに食べている顔を見てほっとしました。また今年は鹿ヶ谷かぼちゃ(京野菜)も種まきから4ヶ月が過ぎた頃から収穫を始め皆さんにお持ち帰りいただくことができました。

今年の農園作業も5月11日の種まき、苗植えから収穫も本日のさつまいもの収穫で終了させていただきましたが、期間中ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

ふれあい農園スタッフ一同

住職の独り言

天真寺ホームページで毎日更新中 天真寺通信も読んでね！ <http://tenshin.or.jp/>

大型の台風19号が、日本列島を吹き荒れています。親鸞聖人はご自分の心を、「暴風驟雨(ぼうふうしゅう)のごとしと言われま

す。如来さまの真実心と対比しての洞察でしようね。あるお寺の伝道掲示板に、「怒り」
怒鳴り声で 相手を威圧し
自分の主張を 押し通す
とありましたが、身に覚えがあるような…。そんな姿はまさに暴風驟雨ですね。縁に触れたら何をしでかすかわからない可能性を含んだ私であります。

『入出二門偈』
「今の時、悪を起し衆罪を造る、恒常なること暴風驟雨のごとし」



副住職の常例法座 名古屋別院へ

副住職が10月4日(土)～6日(月)、常例法座の講師として名古屋入り。東京の自宅と夫の勤務地の名古屋を行ったり来たりして4年の私も、せっかくの機会とお聴聞に行ってきました。実は慌ただしい往復生活のため、名古屋別院にお参りするの初めてです！



名古屋別院がある大須という町は、大須観音で有名な真言宗のお寺を中心に栄えた門前町。浅草といったところでしょうか、今でも名古屋を代表する商店街がある所です。ご法話初日は、秋晴れのとてもいいお天気。午後の部に参拝すると、お正信偈の勤行から約20名のお同行がいらっしゃいました。副住職のお話は、阿弥陀さまの十二光がご讃題。限りも遮るものがない阿弥陀さまの救いの尊さを聞かせてもらいました。

『高僧和讃』
「濁世の起悪造罪は 暴風驟雨にことならず 諸仏これらをあわれみて すすめて浄土に帰せしめり」(10/13掲載分)

天真寺 天ちゃん募金

「できる人が、できることを」をモットーに続けてきたお寺のボランティア活動。これまでもカンボジアの子ども支援や、貧困や戦争で苦しむ国々への募金活動などを行っています。皆様のあたたかいお気持ちをお寄せ下さい。

[郵便振替]00270-5-82663
[加入者名]天ちゃん募金



私たちの式章に気づいたお同行が、「あら、天真寺さんからお参り？」と声をかけて下さいました。自己紹介をすると、「だからだわー。ご講師さん午前は堂々と余裕があったのに、午後は何だか感じが違うのよ。お姉さんが来て緊張しちゃったのね～」と言うから、笑ってしまいました(^_^;)
とにかく、お疲れさま！40分×2席のご法話を無事終え、名古屋名物ひつまぶしでおもてなしの慰労会です。美味しい食事を共にし、この度のご縁に感謝致しました。

あたたかく迎え、お育てを下さった名古屋別院の皆さまには心より御礼申し上げます。初対面の方々とも、年齢や場所を越えてお念仏でつながれるって、素晴らしいことですね。翌日のお晨朝にも台風が近づく雨の中、毎朝欠かさず4時に家を出てお参りをしているという方に会い、手が合わさりました。では名古屋への出講、また待っています～。(静香)

